

児童・生徒の現状・課題

昨年度の取り組みにより友達や教員からフィードバックをもらい、軌道修正しながら考えを広げ、粘り強く学習しようとする姿勢が育ってきている。素直に話に耳を傾けて理解しようとする良さもある。一方で、自分の考えに自信をもてず、表現したり行動したりすることにためらいがある児童が多い。

具体的な手だて①

単元のゴールを明確にすることで、自分の成長した姿をイメージし、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

学び続ける力を育むための重点目標

○児童が学習に対して、前向きに粘り強く取り組めるようにする。(粘り強さ、ポジティブ)

具体的な手だて②

基礎的・基本的な力をつける学習や活動を大切にし、学習計画の中で、途中と最後に振り返ることによって自己の成長を感じられるようにする。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	73.7	75.0	
②問題や課題に取り組んでも上手くない時には、上手いように違うやり方を試したり、調べたりして粘り強く取り組んでいる。	85.6	85.0	

具体的な手だて③

なりたい自分に向かって、学習の中で自分の取り組み方を「選択する」場面を作ることによって、ポジティブに粘り強く取り組めるようにする。

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	86.2	88.0	
②問題や課題に取り組んでも上手くない時には、どうすればいいか、児童自らが方法を選択し行動できるよう、解決の方法を示している。	96.6	95.0	

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

忠三式OJTとして、他学級の授業を参観して皆で高めあう『学びタイム』を年間で12週間設定する。

OJT 夕会を木曜日に設定し、学校全体で教師のスキルや意欲の維持・向上につなげる。

総括(5月)

自分の考えに自信がもてず、表現したり行動したりすることにためらいがある児童が多いという現状は、まだ続いている。基礎的・基本的な力を積み上げていくことと同時に、自分の考えが認められたという経験を重ねていくことで、自己肯定感を高め、学習に対して前向きに粘り強く取り組めるようにしていくことが、まずは必要である。その上で、自ら学習に向かっているという感覚をもてるようにするために、「選択する」場면을意図的に準備し、自分から進んで計画を立てて学習しているという自覚をもてるようにしていきたい。

総括(1月)